

(R5-調査票F)

公表事項等に関する調査

管理番号	001
大学名	北海道大学法科大学院
研究科名	法学研究科

(1) 入学者選抜の実施状況

(1-1) 入学者選抜の実施状況

	収容定員	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
全体		50	172	141	61	48
うち、社会人等	50	0	36	33	7	5

志願倍率 (志願者数/募集人員)	競争倍率 (受験者数/合格者数)	合格率 (合格者数/受験者数)
344.0%	231.1%	43.3%

(1-2) 入学者に占める予備試験合格者について(①いる,②わからない,③いない)

入学者(令和5年度)に占める予備試験合格者の有無	②
--------------------------	---

(1-3) 上記回答欄で「① いる」を選択した場合、以下に入学前に予備試験に合格していた者の数を記載

入学前に予備試験に合格していた令和5年度入学者数	
--------------------------	--

(2) 教育課程のリンク

https://www.juris.hokudai.ac.jp/ls/examinee/curriculum.html	URL
---	-----

(3) 教育課程を履修する上で求められる学識及び能力

(3-1) 法科大学院入学後の学修に当たって求められる学識・能力

基本3科目(憲法・民法・刑法)について講義の予習・復習を継続的に実践することが可能であり、疑問点を発見するとともに自分なりに解決することができること。

(3-2) 1年次が終了する段階で身に付けておく必要がある程度

1年次で履修した科目について基本的な学識を有し、基本3科目の共通到達度確認試験の問題について、全国平均を上回る得点で正解できるようになるとともに、基礎力を試すレベルの事例問題について論理的な解答を作成できるようになること。

(3-3) 2年次が終了する段階で身に付けておく必要がある程度

2年次までに履修した科目について基本的な学識を有し、基礎力を試す事例問題について、論理的な解答を作成できるようになること。

(3-4) 法科大学院を修了する段階で身に付けておく必要がある程度

司法試験に必要とされる科目について十分な学識を有するとともに、応用力を試すレベルの事例問題について、論理的な解答を作成できるようになること。

(4) 成績評価の基準及び実施状況

(4-1) 成績評価の基準

- 成績評価は、法科大学院の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる養成する法曹像に求められる具体的な能力(学位授与水準)を踏まえ、授業科目ごとに「到達目標」を設定し、履修者の達成度に応じて行います。
- 成績評価は、秀優良可不可の5段階に分けて判断します。評価にあたっては、100点方式を用いた評価点を基準とします。
- 成績評価は、原則として、以下の分布基準で行うこととします。なお、以下の分布基準は法科大学院生のみを対象とします。

(4-2) 成績評価の実施状況(優・良・可・不可それぞれの評価の割合等)

- ① 履修者数(不可の者を含む)が25名以上の科目、基礎プログラムの科目および深化プログラムの科目(ゼミ科目を除く)
- 優および秀: 15%から30%まで。ただし、20%から25%までであることが望ましい(この割合については、不可の者は分母に加えない)。
 - 良: 「可」よりも多いものとするが、「可」と同数の場合もありうるものとする。
 - 可: 「良」よりは少ないが、「良」と同数の場合もありうるものとする。また、該当者がいない場合もありうるものとする。
 - 不可: 特に割合は定めない。
- ② 履修者数(不可の者を含む)が10名から24名までの科目
- 優および秀: 60%以下。ただし、30%以下であることが望ましい(この割合については、不可の者は分母に加えない)。
 - 良: 「可」よりも多いものとするが、「可」と同数の場合もありうるものとする。
 - 可: 「良」よりは少ないものとするが、「良」と同数の場合もありうるものとする。また、該当者がいない場合もありうるものとする。
 - 不可: 特に割合は定めないものとする。

③ 履修者数(不可の者を含む)が10名未満の科目

このような科目にあっても、厳格で適格な成績評価を徹底し、特に同一の成績区分に評価が集中することは避けるものとする。具体的には、最低でも履修者(不可の者を含む)の20%程度は、他とは別の成績区分にするよう努めることとする。

(5) 学生数

各年次の学生数について記入してください。(単位:人)

区分	1年次						
				うち社会人等			
	計	男	女	計	男	女	
未修	29	25	4	7	7	0	
既修							
計	29	25	4	7	7	0	

区分	2年次						
				うち社会人等			
	計	男	女	計	男	女	
未修	16	9	7	5	4	1	
既修	31	26	5	1	0	1	
計	47	35	12	6	4	2	

区分	3年次						
				うち社会人等			
	計	男	女	計	男	女	
未修	14	9	5	4	3	1	
既修	26	23	3	2	2	0	
計	40	32	8	6	5	1	

区分	長期履修制度を活用している学生						
				うち社会人等			
	計	男	女	計	男	女	
未修	0	0	0	0	0	0	
既修	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	

区分	合計						
				うち社会人等			
	計	男	女	計	男	女	
未修	59	43	16	16	14	2	
既修	57	49	8	3	2	1	
計	116	92	24	19	16	3	

(6) 進級状況等
(6-1) 進級状況について人数を記入願います。
※ 表中の「法学」とは、「法学を履修する課程」、「法学以外」とは「法学を履修する課程以外の大学の課程」を示す。

【未修者・1年次→2年次】

進級判定 対象年度		未修者の1年次から2年次への進級判定対象者数									進級判定の 実施の有無
		合計	男	女	法学出身者数			法学以外出身者数			
					計	男	女	計	男	女	
令和3年度	判定対象（人）	24	18	6	20	16	4	4	2	2	○
	うち標準年限の判定対象者（人）	16	13	3	14	11	3	2	2	0	
	進級者数（人）	14	8	6	11	7	4	3	1	2	
	うち標準年限による進級（人）	10	7	3	9	6	3	1	1	0	
	標準年限の判定対象者の割合（％）	66.7%	72.2%	50.0%	70.0%	68.8%	75.0%	50.0%	100.0%	0.0%	
	進級率（％）【全体】	58.3%	44.4%	100.0%	55.0%	43.8%	100.0%	75.0%	50.0%	100.0%	
	進級率（％）【標準年限】	62.5%	53.8%	100.0%	64.3%	54.5%	100.0%	50.0%	50.0%	#DIV/0!	

【未修者・1年次→2年次（社会人）】

進級判定 対象年度		未修者の1年次から2年次への進級判定対象者数（社会人）								
		合計	男	女	法学出身者数			法学以外出身者数		
令和3年度	判定対象（人）	7	6	1	5	5	0	2	1	1
	うち標準年限の判定対象者（人）	5	5	0	4	4	0	1	1	0
	進級者数（人）	4	3	1	2	2	0	2	1	1
	うち標準年限による進級（人）	3	3	0	2	2	0	1	1	0
	標準年限の判定対象者の割合（％）	71.4%	83.3%	0.0%	80.0%	80.0%	#DIV/0!	50.0%	100.0%	0.0%
	進級率（％）【全体】	57.1%	50.0%	100.0%	40.0%	40.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%
	進級率（％）【標準年限】	60.0%	60.0%	#DIV/0!	50.0%	50.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!

【未修者・2年次→3年次】

進級判定 対象年度		未修者の2年次から3年次への進級判定対象者数									進級判定の 実施の有無
		合計	男	女	法学出身者数			法学以外出身者数			
令和3年度	判定対象（人）	14	9	5	11	6	5	3	3	0	○
	うち標準年限の判定対象者（人）	9	5	4	9	5	4	0	0	0	
	進級者数（人）	12	8	4	9	5	4	3	3	0	
	うち標準年限による進級（人）	8	4	4	8	4	4	0	0	0	
	標準年限の判定対象者の割合（％）	64.3%	55.6%	80.0%	81.8%	83.3%	80.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	
	進級率（％）【全体】	85.7%	88.9%	80.0%	81.8%	83.3%	80.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
	進級率（％）【標準年限】	88.9%	80.0%	100.0%	88.9%	80.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

【未修者・2年次→3年次（社会人）】

進級判定 対象年度		未修者の2年次から3年次への進級判定対象者数（社会人）								
		合計	男	女	法学出身者数			法学以外出身者数		
令和3年度	判定対象（人）	4	3	1	2	1	1	2	2	0
	うち標準年限の判定対象者（人）	2	1	1	2	1	1	0	0	0
	進級者数（人）	3	2	1	1	0	1	2	2	0
	うち標準年限による進級（人）	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	標準年限の判定対象者の割合（％）	50.0%	33.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!
	進級率（％）【全体】	75.0%	66.7%	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
	進級率（％）【標準年限】	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【既修者・2年次→3年次】

進級判定 対象年度		既修者の2年次から3年次への進級判定対象者数									進級判定の 実施の有無
		合計	男	女	計	法学出身者数 男	女	計	法学以外出身者数 男	女	
令和3年度	判定対象（人）	27	24	3	25	22	3	2	2	0	○
	うち標準年限の判定対象者 （人）	26	23	3	24	21	3	2	2	0	
	進級者数（人）	24	21	3	22	19	3	2	2	0	
	うち標準年限による進級 （人）	24	21	3	22	19	3	2	2	0	
	標準年限の判定対象者の割合 （％）	96.3%	95.8%	100.0%	96.0%	95.5%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
	進級率（％）【全体】	88.9%	87.5%	100.0%	88.0%	86.4%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
	進級率（％）【標準年限】	92.3%	91.3%	100.0%	91.7%	90.5%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	

【既修者・2年次→3年次（社会人）】

進級判定 対象年度		既修者の2年次から3年次への進級判定対象者数（社会人）								
		合計	男	女	法学出身者数			法学以外出身者数		
令和3年度	判定対象（人）	2	2	0	1	1	0	1	1	0
	うち標準年限の判定対象者（人）	2	2	0	1	1	0	1	1	0
	進級者数（人）	2	2	0	1	1	0	1	1	0
	うち標準年限による進級（人）	2	2	0	1	1	0	1	1	0
	標準年限の判定対象者の割合（％）	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!
	進級率（％）【全体】	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!
	進級率（％）【標準年限】	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!

(6-2) 進級判定の基準

3年課程の場合、2年次進級のためには28単位以上を修得していること並びに法科大学院GPA及び共通到達度確認試験の結果が基準値以上であること。
また、3年次進級のためには、全体で56単位以上を修得し、かつ、基礎プログラム28単位以上を修得していること並びに法科大学院GPAが1.3以上であること。
2年課程の場合、2年次進級のためには28単位以上を修得していること並びに法科大学院GPAが1.3以上であること。

(7) 留年率

	1年次			2年次（既修1年）		
	計	男	女	計	男	女
令和4年4月1日現在在籍者数(A)	25	19	6	44	36	8
次の年次に進級しなかった人数(B)	11	11	0	8	7	1
留年率（B/A）	44.0%	57.9%	0.0%	18.2%	19.4%	12.5%

(8)退学者・休学者

退学者	令和4年度（R5. 3. 31時点）											
	1年次						2年次（既修1年）					
	うち予備試験に関係する理由（※1）により休学したことがある者（※2）			うち予備試験に関係する理由（※1）により休学したことがある者（※2）			うち予備試験に関係する理由（※1）により休学したことがある者（※2）			うち予備試験に関係する理由（※1）により休学したことがある者（※2）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
1)退学者	1	1	0	0	0	0	4	4	0	1	1	0
2) 1)のうち司法試験予備試験に合格したことを理由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3) 1)のうち司法試験予備試験合格の資格により司法試験を受験し合格したことを理由	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0

退学者	令和4年度（R5. 3. 31時点）					
	3年次（既修2年）			うち予備試験に関係する理由（※1）により休学したことがある者（※2）		
	計	男	女	計	男	女
1)退学者	0	0	0	0	0	0
2) 1)のうち司法試験予備試験に合格したことを理由	0	0	0	0	0	0
3) 1)のうち司法試験予備試験合格の資格により司法試験を受験し合格したことを理由	0	0	0	0	0	0

退学率	1年次（未修）	2年次（既修1年）	3年次（既修2年）
令和4年4月1日現在在籍者数(A)	25	44	22
退学者数（B）	1	4	0
退学率（B/A）	4.0%	9.1%	0.0%

【休学者】

休学者	令和4年度（R5. 3. 31時点）								
	1年次			2年次（既修1年）			3年次（既修2年）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
4) 休学者数	7	5	2	7	6	1	1	0	1
5) 4)のうち司法試験予備試験に合格したことを理由	0	0	0	1	1	0	0	0	0
6) 5)のうち司法試験予備試験合格の資格により司法試験を受験し合格したことを理由	0	0	0	0	0	0	0	0	0

休学率	1年次（未修）	2年次（既修1年）	3年次（既修2年）
令和4年4月1日現在	25	44	22
休学者数（B）	7	7	1
休学率（B/A）	28.0%	15.9%	4.5%